

ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（連携型）

(実施期間：平成 27～32 年度)

代表機関：東京医科歯科大学（総括責任者：吉澤 靖之）

共同実施機関：順天堂大学、株式会社ニッピ

取組の概要

少子高齢化が進む中、多様性のある未来を形成するには、医療系の女性研究者が活躍し、女性目線を活かした医療を社会に還元することが必要不可欠である。

そのため、各連携機関では女性研究者の活躍促進に取り組んできたが、共通して女性研究者の「低い上位職率」「高い離職率」の課題が残された。

これら課題の解決に向け、女性のリーダーシップ力を向上させるため、マネジメント力・課題解決力を育成する講座を開き、上位職登用を促進させる。かつ女性研究者の研究統率力と研究成果の応用力を培うため、共同研究と産学連携研究を支援する。また育児・介護と研究との両立支援として、地域参加型の育児・介護支援システムを構築し運用する。そしてメンター制度の導入とキャリア相談室の共有により、

女性研究者のキャリア目標の達成支援を行う。

更には、次世代を担う若手研究者のキャリアデザイン力を育成するプロジェクトを実施し、持続可能な社会の構築に寄与する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	今後の進め方
B	b	a	b	a	b

総合評価：B（所期の計画以下の取組であるが、一部で当初計画と同等又はそれ以上の取組もみられる）

(2) 評価コメント

医療系大学において共通する女性研究者の「低い上位職率」と「高い離職率」を解消することを目標として、代表機関と2つの共同実施機関がそれぞれの強みを活かした特色ある取組を進めたことは評価できる。しかしながら、所期の目標を概ね達成したものの、代表機関においては、任期を付さない上位職（教授、准教授）に就く女性研究者は減少しており、また、共同実施機関の内、順天堂大学においては、任期を付さない職に就く女性教授は増加したものの女性准教授は大幅に減少した。また、女性研究者の離職率は、3連携機関全体として0.5%減少したものの、依然として11%を超えている。今後は、3機関の連携を強化するとともに、「低い上位職率」と「高い離職率」を改善するための実効性の高い取組の策定及び着実な実施を期待する。

- ・ **目標達成度**：3連携機関全体としては概ね目標を達成しており評価できる。しかしながら、最大の課題であった女性研究者の「低い上位職率」と「高い離職率」の解決については若干の改善に留まっている。他機関への転出等の事由により、代表機関においては任期を付さない職に就く女性教授、女性准教授とも減少しており、また、3連携機関全体としての女性研究者の

離職率は11%を超えている。

- **取組**：代表機関と共同実施機関が連携し、大都市圏にある機関の特性を活かし、地域住民を巻き込んだ「地域ファミリーサポートシステム」の構築と運用を進め、研究と育児の両立を支援したことは評価できる。女性研究者を研究代表とする共同研究支援（「女性PI 育成共同研究支援」、「研究シーズ実用化プロジェクト」）、女性リーダー育成のための「ダイヤモンドリーダー育成プロジェクト」等、女性リーダー育成を目指した特色ある取組が実施されたことは評価できる。
- **取組の成果**：女性研究者を研究代表とする18件の共同研究、5件の「研究シーズ実用化プロジェクト」を支援することにより、4件の特許出願、15件の外部研究資金獲得などの成果が上がったことは評価できる。さらに、共同実施機関の内、順天堂大学においては任期を付さない職に就く女性教授が4名増加、企業においては課長2名が誕生したことは評価できる。しかしながら、代表機関においては女性教授、准教授の人数が減少するなど主要課題に係る成果が不十分であり、今後の取組の改善を期待する。
- **実施体制**：事業運営の意思決定機関として「DD ユニット事業推進委員会」を設置し、その直下に3機関連携の中核として実務を担う「DD ユニット事業推進室」、各取組の具体的な運営方法を検討・審議する小委員会を設置し、事業を円滑に推進する体制を構築したことは評価できる。今後は、各連携機関の機関長がリーダーシップを発揮し、3機関連携をさらに強化し、各連携機関の持つ強みの相乗効果を明らかにすることを期待する。
- **今後の進め方**：外部評価委員会及び内部評価委員会の評価結果を踏まえ、これまでの取組の継続を図るため体制及び予算を確保していることは評価できる。しかしながら、「低い上位職率」と「高い離職率」という主要な課題の解決を図るため、今後は、上位職教員の女性限定公募等、より積極的なポジティブ・アクションの実施、また、さらなる研究環境整備や業績に見合った上位職への昇任の推進により優れた女性研究者の定着を図ることを期待する。